

安
安心・安全

学
深い学び

健
心と体の健康

2023
5

作成：土幌町教育委員会



空の蒼さを知ろう!

“井の中の蛙 大海を知らず”は中国由来のことわざで「井戸の中にいる蛙は、ずっと狭い世界しか見たことがないため、視野が狭くありきたりの知識しかない」というネガティブな意味合いです。しかし、この先には日本で付け足された続きがあるのです。それが、“**されど 空の蒼さ(深さ)を知る**”という言葉です。意味は「**狭い範囲の視界ゆえ、その神髄を極めることができる**」という**ポジティブな意味**を表しています。

誰もが子どものころは「井の中の蛙」であります。であれば、「大海」を知らせることを急ぐのではなく、**じっくりと「井の中」で「空の蒼さ」を知らせることが大事**なのです。しっかりと空の蒼さを刻み込んだ蛙たちが、いつか成長して大海へと泳ぎ出る。この成長過程こそが急激に変化する時代を、たくましく生き抜くために必要なことだと私は考えます。

情報化の今、「井の中」にいても「大海を知る」ことはできそうな気がします。しかし、それは決して「本物」「リアル」ではありません。逆に、「井の中」でデジタル機器に目を落としてばかりでは空を見上げることはできないわけで、「空の蒼さ」を知ることができなくなってしまいます。

土幌っ子が、「土幌の空の蒼さ(魅力)」をたっぷり体感していくことが、大海にはばたく大切な礎になることは間違いありません。その一助となるのがCSであり地学協働なのです。こうした思いを共有して、今年度の土幌町学校運営協議会を進めていこうと思います。**土幌の皆さんが、土幌の子どもたちを育み、土幌の未来を創造していく。**ワクワクする活動を目指していきます。



◆グローバル (glocal) とは、「global (地球規模の)」と「local (地域的な)」を合わせた造語で、地域性を考慮しながら地球規模の視点で考え、行動することを表した言葉です。地方創生のカギを握る考え方とされています。◆「ローカル」⇒「グローバル」⇒「グローバル」意識の階層は進んでいくでしょう。◆私はGWで、とりあえず釣りと山菜採りで、土幌の「ローカル」を堪能する予定なのであります(笑)。◆次号から、本通信のタイトルが「令和5年度バージョン」に替わる予定。乞うご期待！ (渋谷)